

特 徴

大きな処理能力と長寿命

原石の粒度分布に対応した破碎室形状()により、高硬度で 高強度の大塊破碎においてもスベリやジャンピング現象が ほとんど無いため、低動力で大きな処理能力が得られ、また マントル、コーンケーブの破碎面の摩耗も従来のように下端 部のみの局部的な摩耗が無いいため、マントル、コーンケーブの 歩留りがよく、寿命が長くなっています。

上部軸受のシール構造は外側に固着した泥分、ダストをかき 落とすスクレーパを取付け、内側は2重シール構造としている ため、球面軸受の寿命も長くなっています。

運転効率の向上

コーンケーブの取付け方法は、自動締め構造()のため長 期間の使用にもゆるむことがなく、運転効率の向上ができます。

優れた防塵効果

本体のダストシール構造が従来と異なり、特殊材質のダストリングとエヤカーテン方式()の併用により、優れた防塵 効果を発揮しています。

メンテナンス、短時間調整も容易

上部軸受に球面軸受を採用しているため、主軸の追従性に 優れ、負荷容量も大きいため寿命が長く、また球面軸受の 内輪はスリーブ構造()としているため、メンテナンスも容易 になっています。間隙測定器が標準装備され、破碎間隙の調整は油圧装置に より、押ボタン操作で短時間に調整が可能です。

() = 特許出願

標準機種と処理能力																								
呼び	供給口 寸法 (mm)	電動 機 出力 (kW)	エキセントリック スロー (mm)	標準処理能力 (t/h)																				
				出口セット (C.S.S.=閉じ側 mm)																				
				65	75	90	100	115	125	140	150	165	180	190	200	215	230	240	255	265	280	290	305	
30-55	760 × 2,000	110 ~ 220	16	190	230	260	300	330	370	410														
			19	(260)	310	350	400	450	500	560														
			25	(330)	(400)	450	510	570	630	710														
			32	(380)	(460)	(520)	590	660	730	820														
36-55	910 × 2,300	150 ~ 220	19				370	420	470	530														
			25				(470)	540	600	670														
			32				(540)	(620)	690	770														
42-65	1,070 × 2,750	220 × 300	25					590	670	750	830	970	1,100											
			32					(690)	790	880	990	1,140	1,300											
			38					(800)	(910)	(1,020)	1,320	1,500												
48-74	1,220 × 3,050	220 × 370	25						920	1,000	1,080	1,160	1,240	1,350	1,460									
			32						(1,250)	1,360	1,470	1,580	1,690	1,840	1,990									
			38						(1,420)	(1,540)	1,660	1,790	1,920	2,090	2,250									
			41						(1,540)	(1,680)	(1,810)	1,950	2,090	2,270	2,450									
54-74	1,370 × 3,350	220 × 370	25							970	1,050	1,140	1,210	1,300	1,370									
			32							(1,320)	1,440	1,550	1,650	1,770	1,870									
			38							(1,500)	(1,630)	1,760	1,870	2,000	2,120									
			41							(1,630)	(1,770)	(1,910)	2,040	2,180	2,310									
60-109	1,520 × 3,700	260 ~ 450	25								1,310	1,400	1,490	1,620	1,710	1,800	1,890							
			32								(1,510)	1,610	1,720	1,870	1,970	2,070	2,180							
			38								(1,720)	(1,830)	1,950	2,120	2,240	2,350	2,470							
			44								(1,870)	(1,990)	(2,120)	2,310	2,430	2,560	2,690							
			51								(2,270)	(2,420)	(2,580)	(2,810)	2,960	3,110	3,270							
60-109	1,520 × 3,800	370 ~ 750	25										1,600	1,690	1,780	1,920	2,070	2,210	2,350	2,490	2,640	2,800	2,960	
			32										(1,930)	2,070	2,180	2,340	2,510	2,690	2,860	3,040	3,210	3,400	3,600	
			38										(2,360)	(2,550)	2,700	2,910	3,130	3,350	3,560	3,780	4,000	4,240	4,480	
			44										(2,800)	(3,000)	(3,150)	3,380	3,630	3,880	4,140	4,390	4,640	4,920	5,200	
			51										(3,260)	(3,500)	(3,660)	3,900	4,190	4,480	4,770	5,060	5,350	5,670	6,000	

注記)

1. 上記能力表は、かさ密度1.6t/m3、石灰石程度の比較的破碎しやすい原石を破碎した場合を示します。
2. 実際の能力は、原石性状(圧縮強度、粒度など)、表土分の混入などによって変動します。
3. ()で示された出口セットを希望される場合にはご相談下さい。
4. 原石性状によっては、出口隙間は上記範囲で使用できない場合もあります。